

(公社) 日本山岳会栃木支部 2023年10月マスターズクラブ・
日本山岳会関東4支部合同懇談会下見山行報告書

- 1 期日 2023年10月31日(火)
- 2 場所 釈迦ヶ岳(1795m)
- 3 コース 道の駅やいた=計画輸送=八方ヶ原大間々台駐車場 8:10-9:30 剣ヶ峰-10:50
釈迦ヶ岳 11:10-12:30 剣ヶ峰-13:40 大間々台駐車場
- 4 参加者 渡邊雄二, 荒井理, 大島健一
- 5 行動概要

今回のマスターズクラブは、関東4支部合同懇談会の下見山行を兼ねて実施した。

「道の駅やいた」から荒井車で大間々台駐車場(1280m)に向かう。途中標高1,000m付近では赤、黄、緑のコントラストが、太陽に映えて紅葉を美しく飾っていた。

天候はまずまずの登山日和で、駐車場から10分程林道を歩き、分岐を右に入り「見晴らしコース」の尾根に取り付く。なだらかな樹林が続くが歩き始めから約1.2km付近からは左に視界が開け、「おお牧場はみどり」の歌の「草の海風が吹くよ」のごとく牧場の緑が遠く山裾の一部を占めているのが見えた。

9時には八海山神社に着いたが、神社とはいっても銅板の屋根は倒壊していたのが残念であった。この場所からの景色は、今日の山行では結果的に一番の眺望になった。

矢板市最高地点(名前がないのが不思議である)、剣ヶ峰を通過し、最後の急登を越え一等三角点の釈迦ヶ岳山頂に立ち昼食とする。真新しい鳥居と碑が目立っていた。

あいにく頂上は雲の中に入ってしまったようで、本来なら360度の展望が得られたところだが、その代わりにヒガラの鳴き声と群舞を見ることができた。

体が冷えてきたので頂上を後にし、足元の滑る急な下りに設置してあるロープを使用しながら慎重に降りた。八海山神社まで下ってくると雲の中を抜けたようで、塩谷町・矢板市街を望むことができた。

ここからは上りとは異なり、分岐を左の「林間コース」に取り落葉している明るいダケカンバやカエデ類の樹林を、厚い落ち葉に足を取られないように注意しながら40分程で大間々台駐車場に着いた。

帰路は交流促進センターでもある「山の駅たかはら」に寄り、関東4支部合同懇談会の施設利用情報を確認し「道の駅やいた」に戻った。

なお渡邊支部長はこの後、岡本林檎園で土産用リンゴジュースの購入及び矢板市、塩谷町に参加者配付用観光パンフレットを頂くために訪庁した。

(大島健一 記)

